

社会的な発達と他人との関わり 1月～3月

すいすい組



異年齢との関わりにおいては、お手伝い保育が心の成長にとっても大きな経験になっていったと感じています。わいわいさんやらんらんさんのような、歳の近い友達との関りではあまり見られない、「いたわる」「愛おしむ」といったような、包み込むような、ふんわりとした思いやりのあふれた姿が印象的でした。大変だった～！などと口にしながらも、達成感や誇らしさも感じているようで、しっかりとお世話をしてくれる姿に、小さな友達も心を許し、身を預けてくれています。これもある意味では、「協力し合う」心がお世話する方、される方お互いに育てているからこそなんだと思います。”話し合い”においても、すいすいミーティングなどの場以外にも、普段の保育の中で、〇〇はどうしたい？と聞けば、日常の会話の中で上手に話し合ってくれて決めてくれるまでに成長しました！自分の思いが通らず、涙が頬をつたう事もありましたが、それも含めて、ひとつひとつが素晴らしい経験値になっていったと思います。

そんないろいろな経験や成長の末の小学校への見学。「小学生になるんだ！」というゴールが明確に見えたと共に、自分達がここまで心も体も成長したからこそ「小学校見学に行ける！」という達成感や満足感を感じてくれているように思いました。でもここからは新たなスタートであり、社会的な関りもどんどんと増えていくでしょう！みんな、がんばれ！

